



長崎っ子の心を見つめる教育週間

6月30日(月)から7月6日(日)の1週間を長崎っ子の心を見つめる教育週間として、この期間の月曜日から金曜日までの期間、学校の教育活動を公開します。是非、学校にお越しいただき、生徒の様子を御覧ください。また、この期間以外にも、1年生の花壇づくり・校外清掃活動(6月25日(水)6校時)、合唱コンクール(10月19日(日)午前)を長崎っ子の心を見つめる教育週間の取組の一環として実施を予定しています。

なお、校内の安全対策の一環として、生徒玄関(管理棟側)に受付を設置しますので、お越しの際は、御記名と名札の着用をお願いいたします。

<長崎っ子の心を見つめる教育週間期間中の主な行事>

- 6月30日(月) 6校時 全校集会
- 7月 2日(水) 5校時 道徳公開授業
- 7月 3日(木) 3・4校時 被爆体験講話
- 7月 4日(金) 5・6校時 SNSに関する授業(講師 長崎工業高等学校の生徒のみなさん)

「長崎っ子の心を見つめる教育週間」とは

この週間は、平成16年から長崎県の全ての公立学校で実施されているものです。教育活動を公開する教育週間の実施を通して、学校と保護者や地域住民が連携し、「地域の子どもは地域ではぐくむ」という気運を高め、“いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子”の育成を図っています。

目的：いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子の育成を図る。

- 命を大切にする心や思いやりの心の育成
- あこがれや将来の志の育成
- あいさつやマナーの向上

職員の定時退庁日について

本校では、毎週水曜日を職員の定時退庁日としています。これは、職員の心身の健康とそれぞれの家庭を大切にするためのものです。保護者の皆様も報道等で御存じかとは思いますが、教職員の働き方改革は日本の教育の質に関わる全国的な課題です。職員の体調が優れなかったり、心にゆとりがなかったりすると、生徒に心から寄り添う余裕が無くなってしまいます。また、職員が自身の家庭を大切にできないのに、皆様の御家庭のことを大切に考えて行動できるはずがありません。

本校では、運動場や体育館を各部活動で譲り合って使っている関係で、定時退庁日である水曜日にも部活動を設定しています。そのため、職員が一斉に定時退庁できませんので、水曜日を基本の定時退庁日としながらも、職員それぞれが定時退庁する曜日を設定しています。水曜日の業務終了後は、次のとおり学校を施錠します。電話連絡等で御不便をおかけしますが、御理解と御協力をお願いいたします。

水曜日の施錠時刻

業務終了 16:45
校舎の施錠 16:45開始
17:00完了
電話の対応 16:45まで
(留守番電話に切り替わります)

曜日	水曜日以外を定時退庁日とする職員
月	地域版、ホームページ版においては、職員の個人名を伏せて掲載しています。御了承ください。
火	
木	
金	



学校ホームページ
二次元コード